



ビデオメッセージの管理

ボイスメッセージと同様に、応答しない場合に、Unity Connection を使用して他のユーザにビデオメッセージを送信または受信することもできます (RNA)。

ビデオメッセージの返信または転送中は、メッセージは音声メッセージとしてのみ送信されます。音声メッセージの返信または転送の詳細とメッセージの基本的な情報については、「[ボイスメールの基礎](#)」の章を参照してください。

- [ビデオメッセージの送信 \(1 ページ\)](#)
- [ビデオメッセージの確認 \(2 ページ\)](#)

ビデオメッセージの送信

また、呼出音に応答しない場合 (RNA)、特定されたユーザまたは識別できないユーザのビデオメッセージを録音することもできます。コールに応答しない場合は、コールされたユーザからグリーティング (標準またはビデオ) を受信します。グリーティングを再生した後、コールされたユーザのビデオメッセージを録音できます。ボイスメッセージとは異なり、ユーザの内線番号をダイヤルせずにビデオメッセージを送信することはできません。ビデオメッセージは、RNA の場合にのみ送信できます。

ビデオメッセージがコール先のユーザに配信されない場合、そのユーザにメッセージの音声部分が添付された配信不能通知 (NDR) を受信します。配信されないメッセージを音声形式で再送信できます。



- (注) ビデオメッセージの録音中に、Unity Connection と MediaSense 間の通信が失われると、そのコールは音声に変換されます。MediaSense からの応答がないためにビデオコールが音声に変換された場合、ビデオとして再度復元することはできません。

電話のキーパッドを使用したビデオメッセージの送信

ステップ 1 ユーザ内線番号をダイヤルします。 .

ユーザがコールに応答しない場合は、標準グリーティングまたはビデオグリーティングが再生されます

ステップ2 トーンの後にビデオメッセージを録音します。

ステップ3 プロンプトの指示に従って、ビデオメッセージを再生、再録音、または送信します。

録音を一時停止または再開するには、8を押します。録音を終了するには、#を押します。

(注) 音声コマンドを使用したビデオメッセージの送信はサポートされていません。

ビデオメッセージの確認

電話機を使用して、Cisco Unity Connection メールボックスでの新規および保存されたビデオメッセージを音声メッセージと一緒に確認または再生できます。ビデオメッセージの再生中は、いつでも録音を一時停止できますが、一時停止されている時点から録音が開されることはありません。これは、最初から再生されます。メッセージは、メッセージの再生中に、またはビデオメッセージ全体を聞き終えた後で保存や削除もできます。

Unity Connection でメッセージの録音の期限ポリシーが適用されていない場合、ビデオメッセージはメールボックスに永続的に保存されます。ただし、ポリシーが適用されている場合、ビデオメッセージは指定された日数の経過後に期限切れになります。ビデオメッセージの期限が切れると、メッセージの音声部分だけがボイスメッセージとしてメールボックスに保存されます。



(注) ビデオメッセージの再生中に、電話機の[音量]ボタンを使用して再生音量または再生速度を変更できます。電話機を使用した再生音量または再生速度の変更音量や速度を変更せずに録音を開始するには、[電話機のカスタムキーパッド]を使用します。

電話のキーパッドを使用したビデオメッセージの送信

ステップ1 ユーザ内線番号をダイヤルします。

ユーザがコールに応答しない場合は、標準グリーティングまたはビデオグリーティングが再生されます

ステップ2 トーンの後にビデオメッセージを録音します。

ステップ3 プロンプトの指示に従って、ビデオメッセージを再生、再録音、または送信します。

録音を一時停止または再開するには、8を押します。録音を終了するには、#を押します。

(注) 音声コマンドを使用したビデオメッセージの送信はサポートされていません。